

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2024年12月15日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌95「わがこころは」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃美歌239「さまよう人々」	一 同
教会学校	絵 本 「靴 屋 の マ ル チ ン」	牧 師
讃 美	讃美歌452「正しく清くあらまし」	一 同
聖書朗読	創世記37:1-8	雅 子
奨 励	創世記の福音(第31回)	牧 師
主 題	「夢見る者」	
讃 美	讃美歌272「ナザレのふせやに」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	竹 生
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌546「聖なるかな」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	クリスマス・メッセージ	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（2コリント9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》
12/15(日) 聖日礼拝
/16(月)
/17(火)
/18(水)
/19(木) 10:00 聖研
/20(金)
/21(土) 13-16 子供オプンハウス
/22(日) **クリスマス礼拝**



- 《祈りの課題》
- ① 家族の救いのために
 - ② 礼拝に来れなかった人々のために
 - ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「光の子らしく歩む」

弁護士 ささきみつお (新生宣教師団:つながりNo.166)

聖書には「神は光であって、神には少しの暗いところもない」と書かれている(ヨハネ1:5)。神の言も光である(詩篇119:105)。「私は世の光である。私に従って来る者は闇の内を歩くことがなく、命の光をもつであらう」と主イエスは言われた(ヨハネ8:12)。

イエスを信じる者は神の子として神の命の光を持ち、光の子とされている。だから光の子らしく歩み、世の光として自分たちの光を人々の前に輝かさなければならない(マタイ5:14-16)。それは光の子を見て、暗闇の中にいる人々がイエスを信じ、彼らも光の子となるためである。それでは、光の子が世の光として輝くにはどうしたらよいのだろうか。

ホームマン愛子さんは米国の大学に留学し、数学・原子物理学博士号を取得後、米国国防省から女性初のプロジェクトマネジャーとして抜擢され、人間の脳と人工知能の研究に携わった。その間、研究者の仲間から聖書を読むように勧められ、聖書を学んでいる内に、そこに書かれている数々の預言が天文学的確率で成就していることを知った。こうして聖書が神の書であることを確信し、クリスチャンになる。以後、科学者である夫のホームマン氏と共に、聖書の言葉の真理を科学的に追求しながら、癒やしと解放を伴う福音伝道の働きに携わってきた。Dr.愛子は通常では肉眼でははっきりとは見えない光を人体が発していることを次のように説明している。

光や電気といった様々な物理現象は、粒子のような性質と波動のような性質を併せ持っている。人体の全ての細胞の中にあるDNA分子は、絶えず光子(光の粒子)を放出している。人体の光子をバイオフィトンという。人体の中で最も強い波動(周波数)と発するのは脳だが、脳の思考(感情・意志)作用により、体の内と外にバイオフィトンが蓄積された領域(場)が形成され、様々な色として認識される。要するに、神によってもともと人間は発光体として造られているとDr.愛子は言う。

否定的な思考をすれば、バイオフィトンがマイナスのエネルギーとして蓄積され、その場が灰に近い色になる。それは体内の酵素作用等を不活性化し体調不良や病気や精神疾患を引き起こす。また体外では暗い雰囲気醸し出し、対人関係の悪化をもたらす。肯定的な思考をすれば、バイオフィトンがプラスのエネルギーとして蓄積され、その場が赤に近い色になる。それは体内の酵素作用等を活性化させ体長改善や健康や健全な精神をもたらす。また体外では明るい雰囲気醸し出し、対人関係等の改善をもたらす。

自分の思いを神(の言)に集中すると、聖霊に満たされ、神の愛、喜び、平安が満ちてくる。その人は生氣に溢れて光輝いてくる。逆に思いを世(の罪)に集中すると、聖霊が後退し、肉の憎悪、恐怖、悲観が満ちてくる。その人は生氣を失い暗く弱々しい雰囲気醸し出す。本来、科学は聖書の言葉の真理を客観的に証明していくものであるが、「ようやく科学が聖書に近づいてきた」とDr.愛子は語っている。